北海道でのJRでの対応策

JR、地元と協議自明

9月に大規模緩和も

経営危機JR甚大

廃止容認足守るため\n
JR北連駅経営再生

クワゴ用料見直し予算

JR支線廃止容認

人口が過疎地ほど急速に進んでおり、また車社会と言え、他国がかかる工大、そして安全な車社会においてはJRの利用する方が減少し、 tudtは高額なことも考えられ

しかし過疎地域は高齢者が多く、その地域ではその人達の事を思い車での多目的利用を考えてはパスの小型化